

2025年9月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）



2025年8月14日

上場会社名 BBDイニシアティブ株式会社 上場取引所 東
コード番号 5259 URL https://bbdi.co.jp
代表者（役職名） 代表取締役社長 グループCEO（氏名） 稲葉雄一
問合せ先責任者（役職名） 取締役 グループCFO（氏名） 佐藤幸恵（TEL）03-5405-8120
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期第3四半期の連結業績（2024年10月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第3四半期	3,311	9.8	267	24.0	252	24.9	160	38.3	160	38.3	158	36.4
2024年9月期第3四半期	3,016	13.8	216	85.9	202	90.1	116	40.4	116	40.4	116	36.1

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第3四半期	27.40	—
2024年9月期第3四半期	22.05	—

（注）希薄化後1株当たり四半期利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年9月期第3四半期	4,162	2,301	2,301	55.3
2024年9月期	4,133	1,280	1,280	31.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2025年9月期	—	0.00	—	—	—
2025年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に帰属 する当期利益		基本的1株当たり当期 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,700	13.9	355	24.3	215	30.5	40.75

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年9月期3Q	6,120,221株	2024年9月期	5,276,221株
2025年9月期3Q	296株	2024年9月期	233株
2025年9月期3Q	5,873,066株	2024年9月期3Q	5,276,006株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料はTDnet及び当社ウェブサイトにて同日開示しています。また、2025年8月15日(金)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日資料する決算説明会資料は、当社ウェブサイトに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(要約四半期連結損益計算書)	7
(要約四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2024年10月1日～2025年6月30日)における我が国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加などを背景に景気の回復基調となっているものの、国内物価の上昇や急激な円安による個人消費の抑制傾向で推移しております。一方で、世界情勢の緊迫化、地政学リスク、米国の関税政策動向等により先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境は、企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)への機運は依然として高く、企業のIT投資、人的資本投資、M&A投資、研究開発投資等に意欲的となっています。

さらに、高度な対話型生成AIである「Chat GPT」をはじめとする大規模言語モデルによる技術革新は、労働集約的業務・単純作業の自動化にとどまらず、LLM(大規模言語モデル)やRAG(検索拡張生成)の進化を経てAIエージェントへと発展しており、AIの利用は今後さらに拡大が見込まれております。

また、社会的課題である生産労働人口の減少に伴うIT人材不足は深刻化の一途を辿っており、IT人材の採用困難性は増しています。

このような状況下、企業のIT投資は省力化と生産性向上への投資が加速すると予想され、IT資本と労働の代替が適切に進展しない場合は成長の制約となってしまうと考えられます。

当社は引き続きDXによる企業活動支援を積極的に推進し、中堅・中小企業のDXを支援するための4つのクロスステック「セールステック」、「マーテック」、「ディープテック」、「タレントテック」を中心に経営資源を絞り、事業の選択と集中に取り組んでまいりました。

具体的には、主力事業であるDX事業セグメントにおいて、次世代型「Knowledge Suite」の開発・提供を順次開始し、生成AI機能の実装により、顧客の営業活動の効率化と利便性向上を実現いたしました。これにより、新規顧客の獲得および既存顧客へのクロスセルが進展し、売上の増加に寄与しております。

また、BPO事業セグメントにおいても、IT人材の確保と教育を強化し、高単価かつ高採算のプロジェクト案件の獲得に成功いたしました。これにより、当該セグメントの売上は順調に達成しております。

さらに、営業利益率の向上を最優先事項として取り組んでおり、営業利益率7.6%の計画に対し、当四半期連結会計期間では年度計画の達成に向けて順調に成果を上げております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上収益は3,311,941千円(前年同期比9.8%増)、営業利益は267,947千円(前年同期比24.0%増)、税引前四半期利益は252,874千円(前年同期比24.9%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益160,910千円(前年同期比38.3%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① DX事業

当第3四半期連結累計期間においては、販売パートナーの新規開拓活動及び深耕活動による拡販支援、効率の高い展示会への積極的な参加等によるマーケティング・プロモーション活動を引き続き注力しつつ、新たに立ち上げたインサイドセールス体制の強化による、リード(見込み顧客)獲得の拡大を図るなど販売チャネル強化を進めてまいりました。

また、「Knowledge Suite」と高い相乗効果を発揮するBtoB営業リスト作成サービス「Papattoクラウド」等、グループ会社及び提携先パートナーによるRPAサービス等の同時提案やクロスセルといった取り組みを推進したことで、SaaS売上収益は前年同期比103.0%増、グループサブスクARR(※1)は1,688百万円となりました。

これらの結果、売上収益は1,629,571千円(前年同期比3.7%増)、セグメント利益は429,660千円(前年同期比6.2%減)となりました。

※1 グループサブスクARR: 2022年12月末時点のOEMを除く当社及び当社グループが提供する全てのSaaSにおける各四半期末時点のMRRの12倍で算出。
ARRはAnnual Recurring Revenueの略。年次経常収益。
MRRはMonthly Recurring Revenueの略。月間経常収益。

② B P O 事 業

当第3四半期連結累計期間においては、引き続き高いIT人材需要を背景に積極的な営業活動を進め、IT人材不足による新規開発プロジェクト案件が順次開始し、SES売上収益は前年同期比117.9%増となりました。

これらの結果、売上収益は1,682,369千円(前年同期比16.4%増)、セグメント利益は216,611千円(前年同期比18.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は1,519,389千円となり、前連結会計年度末に比べ115,140千円増加しました。これは主に、営業債権及びその他の債権の減少20,783千円、その他の金融資産の増加20,896千円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の非流動資産は2,643,026千円となり、前連結会計年度末に比べ85,965千円減少しました。これは主に、使用権資産の減少100,800千円、無形資産の増加21,640千円によるものであります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の資産合計は4,162,416千円となり、前連結会計年度末に比べ29,175千円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は1,453,586千円となり、前連結会計年度末に比べ463,618千円減少しました。これは主に、営業債務及びその他の債務の減少118,875千円、有利子負債の減少348,340千円、未払法人所得税の増加54,040千円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の非流動負債は407,369千円となり、前連結会計年度末に比べ528,305千円減少しました。これは主に、有利子負債の減少458,154千円、リース負債の減少70,273千円によるものであります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は1,860,956千円となり、前連結会計年度末に比べ991,924千円減少しました。

(資本)

当第3四半期連結会計期間末の資本は2,301,459千円となり、前連結会計年度末に比べ1,021,099千円増加しました。これは主に、新株予約権の行使による新株の発行による資本金等の増加882,824千円、四半期利益の計上による増加160,910千円によるものであります。

これらの結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末に比べ24.3ポイント増加し、55.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期の業績予想は、営業利益率10%を目標に、営業活動とその周辺領域の顧客ニーズを取り込んだプロダクト・サービスを積極的にクロスセル展開し、顧客単価向上によるオーガニック成長をより一層加速させると同時に、既存事業とのシナジーを狙った営業・マーケティング領域のM&A・新規事業等の成長ドライバーによる非連続的成長を推進し、営業利益に貢献する投資を継続することで財務体質の健全化を進めてまいります。

また、深刻化する人手不足を補うべく営業・業務の自動化・自律化を促進する生成AI等の先端技術を組み込んだ次世代「Knowledge Suite (ナレッジスイート)」の市場投入を進め、人材の最適配置、人材育成、人事制度の見直しを実行することで、さらなるクロスセル拡販体制強化による顧客単価向上を推進してまいります。

以上から、売上収益は4,700百万円(前年同期増減額572百万円増)、営業利益は355百万円(前年同期増減額69百万円増)、親会社の所有者に帰属する当期利益は215百万円(前年同期増減額50百万円増)として据え置いております。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、IT業界の変化

は急速であることに加え、世界経済の不透明感が高まっていること等の様々な要因によって、実際の業績は予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	743,079	838,708
営業債権及びその他の債権	561,194	540,410
棚卸資産	1,775	785
未収法人所得税等	16,724	4,533
その他の金融資産	3,268	24,165
その他の流動資産	78,206	110,785
流動資産合計	1,404,248	1,519,389
非流動資産		
有形固定資産	45,148	43,015
使用権資産	317,848	217,048
のれん	843,893	843,893
無形資産	1,321,155	1,342,795
その他の金融資産	110,136	104,230
繰延税金資産	90,809	92,043
非流動資産合計	2,728,991	2,643,026
資産合計	4,133,240	4,162,416

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	321,682	202,807
契約負債	91,881	93,723
有利子負債	1,159,132	810,792
リース負債	128,292	97,559
未払法人所得税等	24,226	78,266
その他の流動負債	191,990	170,438
流動負債合計	1,917,205	1,453,586
非流動負債		
有利子負債	711,290	253,136
リース負債	167,847	97,573
引当金	39,605	39,727
繰延税金負債	16,931	16,931
非流動負債合計	935,674	407,369
負債合計	2,852,880	1,860,956
資本		
資本金	734,016	1,176,526
資本剰余金	285,819	708,015
利益剰余金	258,225	419,136
自己株式	△20	△86
その他の資本の構成要素	2,319	△2,131
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,280,360	2,301,459
資本合計	1,280,360	2,301,459
負債及び資本合計	4,133,240	4,162,416

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
売上収益	3,016,633	3,311,941
売上原価	1,733,052	2,038,811
売上総利益	1,283,580	1,273,130
販売費及び一般管理費	1,060,128	1,005,057
その他の収益	1,887	2,912
その他の費用	9,294	3,038
営業利益	216,045	267,947
金融収益	33	425
金融費用	13,657	15,497
税引前四半期利益	202,422	252,874
法人所得税費用	86,104	91,964
四半期利益	116,318	160,910
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	116,318	160,910
四半期利益	116,318	160,910
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	22.05	27.40
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
四半期利益	116,318	160,910
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融商品	—	△2,256
その他の包括利益合計	—	△2,256
四半期包括利益	116,318	158,654
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	116,318	158,654
四半期包括利益	116,318	158,654

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素		
2023年10月1日残高	734,016	263,661	93,498	—	132	1,091,309	1,091,309
四半期利益	—	—	116,318	—	—	116,318	116,318
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	116,318	—	—	116,318	116,318
新株の発行	—	—	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△20	—	△20	△20
新株予約権の発行	—	—	—	—	2,194	2,194	2,194
株式報酬取引	—	16,618	—	—	—	16,618	16,618
所有者との取引額等合計	—	16,618	—	△20	2,194	18,791	18,791
2024年6月30日残高	734,016	280,280	209,816	△20	2,326	1,226,418	1,226,418

当第3四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素		
2024年10月1日残高	734,016	285,819	258,225	△20	2,319	1,280,360	1,280,360
四半期利益	—	—	160,910	—	—	160,910	160,910
その他の包括利益	—	—	—	—	△2,256	△2,256	△2,256
四半期包括利益合計	—	—	160,910	—	△2,256	158,654	158,654
剰余金の配当	—	△36,931	—	—	—	△36,931	△36,931
新株の発行 (新株予約権の行使)	442,509	442,509	—	—	△2,194	882,824	882,824
自己株式の取得	—	—	—	△65	—	△65	△65
株式報酬取引	—	16,618	—	—	—	16,618	16,618
所有者との取引額等合計	442,509	422,195	—	△65	△2,194	862,444	862,444
2025年6月30日残高	1,176,526	708,015	419,136	△86	△2,131	2,301,459	2,301,459

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	202,422	252,874
減価償却費及び償却費	220,112	255,480
金融収益	△33	△425
金融費用	13,657	15,497
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△594	989
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△48,752	20,783
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	12,975	△118,875
契約負債の増減額 (△は減少)	6,924	1,842
その他	△8,343	△37,031
小計	398,368	391,135
利息の受取額	33	425
利息の支払額	△13,254	△14,353
法人所得税の支払額	△43,129	△43,676
法人所得税の還付額	—	16,735
営業活動によるキャッシュ・フロー	342,017	350,265
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△5,542
無形資産の取得による支出	△228,283	△168,474
子会社の取得による支出	△209,078	—
その他	△22,470	△18,480
投資活動によるキャッシュ・フロー	△459,832	△192,497
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	42,506	△240,000
長期借入れによる収入	440,000	—
社債の償還及び長期借入金の返済	△265,189	△566,959
リース負債の返済による支出	△103,088	△101,006
株式の発行による収入	—	882,824
配当金の支払額	—	△36,931
自己株式の取得による支出	△20	△65
その他	2,194	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	116,401	△62,139
現金及び現金同等物の増減額	△1,412	95,628
現金及び現金同等物の期首残高	668,302	743,079
現金及び現金同等物の四半期末残高	666,889	838,708

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定しております。

当社グループは、経営組織の形態、製品・サービスの特性及び販売市場の類似性に基づき、複数の事業セグメントを集約した上で、「DX事業」及び「BPO事業」の2つを報告セグメントとしております。

「DX事業」は、営業活動の可視化、営業活動の自動化を目指す法人向けマルチテナント型クラウドサービスとして開発した統合型営業・マーケティング支援SaaSの開発・販売及び顧客企業のカスタマーサクセスへ導く導入支援サービスを提供することで、中堅・中小企業のDXを支援する事業を展開しております。

「BPO事業」は、主に企業のマーケティング課題・システム課題を解決支援するWEBマーケティング支援、各種システムの受託開発・保守及び顧客企業へのシステムエンジニアリング（IT人材リソース）を提供するビジネスプロセスアウトソーシング事業を展開しております。

(2) 報告セグメントの収益及び業績に関する情報

報告セグメントの収益及び業績に関する情報は、次のとおりです。

前第3四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

(単位：千円)

	DX事業	BPO事業	合計	調整額	要約四半期 連結損益計算書 計上額
売上収益					
外部顧客からの売上収益	1,571,847	1,444,786	3,016,633	—	3,016,633
セグメント間の売上収益	1,170	24,884	26,054	△26,054	—
合計	1,573,017	1,469,671	3,042,688	△26,054	3,016,633
セグメント利益	458,004	182,844	640,849	△424,803	216,045
金融収益					33
金融費用					13,657
税引前四半期利益					202,422

(注) 1. セグメント間の取引は市場実勢価格に基づいております。

2. セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用によるものであります。

3. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

(単位:千円)

	DX事業	BPO事業	合計	調整額	要約四半期 連結損益計算書 計上額
売上収益					
外部顧客からの売上収益	1,629,571	1,682,369	3,311,941	—	3,311,941
セグメント間の売上収益	855	21,954	22,809	△22,809	—
合計	1,630,426	1,704,324	3,334,750	△22,809	3,311,941
セグメント利益	429,660	216,611	646,271	△378,324	267,947
金融収益					425
金融費用					15,497
税引前四半期利益					252,874

- (注) 1. セグメント間の取引は市場実勢価格に基づいております。
 2. セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用によるものであります。
 3. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。